



# 2 年学年だより

2023年6月2日(金)  
吹田市立第五中学校  
第2学年  
No.11

## 家庭学習で学力アップ！！

家庭学習の効果は、今まで実施した全国学力・学習状況調査の結果から明らかになっています。

### 国における分析から、期待できる効果を読み取ると…

ここ数年行っている全国学力・学習状況調査について国における分析結果から、概ね次のようなことが言えます。

- ① 家で家庭学習をしている児童生徒ほど国語、数学とも正答率が高い傾向がある。
- ② 家で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。
- ③ 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをよく行っている学校の方が、家できちんと宿題に取り組む児童生徒の割合が高い傾向がある。

以上を参考にさせていただきたいと考えます。

### 保護者の皆様へ

家庭では、「勉強するって楽しい」という気持ちを育てましょう。

最初から進んで机に向かう勉強好きなお子さんはそう多くありません。むしろ、「それができないから困っている」という保護者がほとんどです。「勉強しなさい」といわれて、いやいや机に向かわせたとしても、それは決して長続きするものではありません。家庭で勉強することが「楽しい」「自分の力になる」という実感をもたせること、自分なりの勉強方法を見つけさせることが大切です。では、どうしたら…？

そのためのサポートのひとつとして、2学年では「5分間ドリル」という教材を週末課題としています。

### 「5分間ドリル」の特長

**5教科の基礎的な内容をコツコツ復習できる。**

- ・1年間通して行います。
- ・1年生の内容を全90枚(18枚×5教科)用意しています。
- ・毎週金曜日に配布します。(テスト期間中などは除きます。)



## 家庭学習ガイドライン

「与えられたことをちゃんとやる力」は大切です。それだけではなく、変化の激しい現代を生き抜くために、身に付けてほしい力があります。それは「**自分で課題を見つけ、それを解決する力**」です。子どもが、自分で「何を勉強すればよいのか」、「どう勉強すればよいのか」、自ら探し、見つけ出す力が身につくように、サポートしていきましょう。

### 家庭学習の効果

#### ①学ぶ習慣が身につく

「わからない」「知りたい」「今、自分に必要だ」と思ったときに、教科書・本・インターネットから情報を集め、課題を解決する習慣を身に着けます。

#### ②誘惑に負けない「自律心」が身につく

テレビ・スマホ・ゲーム・インスタ・YouTube…。毎日長時間、SNSやテレビを観る習慣がついてしまっている子どもは、本を読むのが苦手、勉強が嫌い、という傾向があります。便利であるがゆえに、誘惑や落とし穴も多いデジタル社会を、自分で有効に活用しながら生き抜くために大切な「自律心」を身に着けます。

#### ③家庭でのコミュニケーションの機会になる

われわれ大人が「がんばってるね。」などの言葉で誉めたり、応援したりすることで、子どものやる気が出たり、楽しく勉強ができたりすることは、よくあります。

また、子どもが家庭学習をできていない、問題がわかっていない、何をすればいいのかわかっていない時には、親と一緒に考えたり、調べたりしてあげることでコミュニケーションが生まれます。

「自分でできるように」が身に付けて欲しい力ですが、子どもの様子を見ながら時には「一緒に考えよう」「一緒に調べよう」という親の姿勢が、子どもの学ぶ意欲につながることもあります。

### 家庭学習を効果的にできる環境チェック

- ① 家庭学習をする時間は決まっていますか？ YES ・ NO
- ② 家庭学習をする時間は集中できていますか？ YES ・ NO
- ③ 家庭学習をする場所は決まっていますか？ YES ・ NO
- ④ 落ち着いた場所で学習できていますか？ YES ・ NO

NOがあった家庭は、次のことを見直してみましょう。

- 家庭学習の時間のために、何の時間を削るか考えよう
- テレビやスマホ、漫画など誘惑のあるものを勉強する場所に置かない
- 勉強する場所を整理整頓して、勉強に適した環境にしましょう